

# 2019年度「世界青年の船」事業 概要

現在、グローバル化が進展する中で、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、国際社会・地域社会等でグローバル化対応を牽引・指導する次世代リーダーが必要となっている。

「世界青年の船」事業は世界各地から集まり多様なバックグラウンドを持った外国青年とのディスカッションや文化交流、参加青年主体のワークショップ等を通して、異文化対応力、コミュニケーション力、リーダーシップ、マネジメント力の向上を図ることにより、国際化の進展する各分野でリーダーシップを発揮して社会貢献を行うことができる青年を育成するとともに、国境を越えた強い人的ネットワークの構築を図ることを目的として実施する。

2019年度事業では、オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控えた機会をとらえ「レガシー」を研修の題材とし、東京大会以前の開催諸国等から青年を招へいすることにより、研修内容の充実と青年同士の関係強化を併せて目指すものとする。

## ＜事業の概要＞

(注) 本概要は2019年度政府予算案に基づく2019年1月時点の予定であり、訪問国及び日程は、今後変更することがある。

### 1 本体プログラム

- (1) 訪問国  
メキシコ ほか
- (2) 日程
  - ・2020年1月12日(日)から14日(火)までの3日間(陸上研修①)
  - ・2020年1月15日(水)から2月17日(月)までの34日間(船上研修)
  - ・2020年2月18日(火)から20日(木)の3日間(陸上研修②)
- (3) 参加青年  
日本参加青年約120人及び外国参加青年約120人が参加する。
- (4) 参加国  
英国、ブラジル連邦共和国、フランス共和国、メキシコ合衆国、ニュージーランド、スリランカ民主社会主義共和国、ペルー共和国、バーレーン王国、エジプト・アラブ共和国、ケニア共和国及び日本
- (5) 船内における活動  
いくつかのコーステーマに分かれて行う「コース・ディスカッション」や各種セミナー、各国事情を紹介し合う「ナショナル・プレゼンテーション」、その他の多国間交流活動等を行う。
- (6) 日本及び訪問国における活動  
地元青年等との交流を行うとともに、関連施設の訪問等を行う。
- (7) 共通語  
本事業における共通語は、英語とする。

### 2 研修

青年海外派遣の効果を最大限に高めるため、日本参加青年に対して以下の研修を実施する(東京都内で合宿形式により実施)。

- (1) 事前研修
  - ア 時期及び期間  
2019年9月20日(金)から25日(水)までの6日間(5泊6日)
  - イ 研修目的  
事業の趣旨、内容、訪問国等についての理解を深め、必要な諸準備を行うとともに、参加青年としての心構え及び訪問国における活動の基本を習得し、併せて出航前研修までの自主研修期間の準備と目標を明確にする。
- (2) 出航前研修
  - ア 時期及び期間  
2020年1月11日(土)、12日(日)の2日間
  - イ 研修目的  
船内及び訪問国における諸活動の準備、その他事業遂行上必要な諸準備を行う。
- (3) 帰国後研修
  - ア 時期及び期間  
2020年2月21日(金)、22日(土)の2日間(1泊2日)
  - イ 研修目的

事業成果を取りまとめ、その成果を踏まえた事業終了後における諸活動への理解を深める。

### 3 参加青年の任務と選任等

#### (1) 任務

- ア 日本参加青年は、団体行動の下に、研修及び本体プログラムに参加し、団務を分担する。  
また、事前研修後の自主研修期間にあつては、参加国についての知識や語学能力の向上に励むとともに、我が国の歴史や社会情勢の認識を深めるなど、積極的に本体プログラムの準備に努めなければならない。
- イ 日本参加青年は、帰国後、活動報告書を内閣府に提出する。
- ウ 日本参加青年は、事業参加後およそ1年後、5年後、10年後に内閣府が行うフォローアップ調査（活動状況等）に回答する。

#### (2) 選任等

- ア 日本参加青年は、都道府県知事（青年国際交流主管課（室）が教育委員会に属する場合には、教育長）又は全国的組織を持つ青少年団体等の代表者から第1次選考を経て推薦された者の中から、内閣府が選考し、決定する。
- イ 外国参加青年は、参加各国政府及び当該国を管轄する日本国在外公館等の協力を得て、内閣府が決定する。

### 4 乗船及び帰国

- (1) 日本からの参加者は、陸上研修終了後、日本から乗船し、本体プログラムの終了後、日本で下船する。
- (2) 外国からの参加者は、各国から航空機で日本に集合し、陸上研修終了後、日本からの参加者と共に日本から乗船し、本体プログラムの終了後、日本から航空機で帰国する。

### 5 経費

- (1) 事業の実施のための経費（(2)及び(3)に掲げるものを除く。）は、日本参加青年の出航前研修に参加するための国内上京旅費及び帰国後研修終了後の国内帰郷旅費（東京23区内在住の者を除く。）を含め、内閣府が負担する。
- (2) 次に掲げる経費は、日本参加青年本人の負担とし、参加費として日本参加青年から徴収する。（30万円程度）ただし、経済的理由により参加費の納入が困難な場合については、参加費の免除を申請することができる（「応募要領」の「9 その他」参照）。
  - ア 運航期間中の備船料の一部及び船内供食費（※1）
  - イ 事前研修、出航前研修、陸上研修及び帰国後研修における宿泊料等及び食費
  - ウ 入国査証料、旅行保険料等
- (3) その他、以下の経費についても、日本参加青年本人の負担とする。
  - ア 事前研修に参加するための往復旅費
  - イ 旅券発行手数料、予防接種料
  - ウ 疾病又は傷害の治療費用及びそれに付随する費用
  - エ 小遣いその他の個人の用に必要な経費
  - オ 日本における事後活動組織である日本青年国際交流機構への入会金（3万円）（※2）

（※1）「備船料の一部」については、参加青年として決定後、事業参加を辞退した場合には、返還しない。

（※2）内閣府の青年国際交流事業に参加した青年等が自主的に組織している事後活動組織「日本青年国際交流機構」では、会員たちが事業参加の経験とネットワークを生かしながら、様々な形で社会に携わる活動を行っている。

## 2018 年度明治 150 年記念「世界青年の船」事業 プログラムの概要

### 1. 研修内容

#### ア コース・ディスカッション

地球規模の社会貢献を共通のテーマに、「国際協力活動」、「平和な世界を作るための教育」、「自他をエンパワメントする対話」、「情報とメディア」、「ソフトパワーと青年外交」、「生活習慣病」、「多文化共生」の7コース（平成30年度実施）に分かれ、各分野のファシリテーターによる指導の下、英語によるディスカッションを通じて、各分野に対する理解を深めるとともに、トピックに基づいて発表・意見交換を行うことができる能力の向上を図る。

#### イ 「リーダーシップ・セミナー」及び「異文化理解セミナー」

リーダーシップや異文化理解力の向上を目的に、専門家によりセミナーを実施する。

#### ウ グループ活動

活動の基礎単位として国籍混成で組織された A~K の 11 グループごとに、自国の文化・習慣の紹介、レクリエーションなどの自主的な活動を行うとともに、与えられたテーマに基づく活動等を行う。

#### エ ナショナル・プレゼンテーション（NP）

各国ごとに、参加青年が、華やかな伝統舞踊・音楽、厳かな儀式、セミナー等により自国の政治、経済、社会、文化等を紹介する。

#### オ 自主活動・その他

多国間交流のための活動等を行う。

### 2. 陸上研修・船上研修中の生活規則等

#### ア 生活時間

研修中は、通常7時30分起床、午前2時限、午後3時限（1時限：70分）の研修、夕食後に1時限の研修を行い、23時就寝。

#### イ 船内キャビン割り

男性用のキャビンと女性用のキャビンは別エリア。1つのキャビンを異なる国の3人で使用（3人部屋）。

#### ウ 服装

服装は基本的に自由。ただし、表敬訪問、レセプション等公式行事の際には、フォーマルウェア又はナショナル・ドレス（民族衣装）を着用。

### 3. 訪問国活動

訪問国においては、大統領等の要人への表敬訪問、ディスカッション・テーマに関連した施設や団体等への訪問、地元青年等とのディスカッションや文化交流、伝統文化の体験などを行う。

## 明治150年記念「世界青年の船」事業日程

事業日数		月 日	備 考
第1日	平成31年	1月15日 火	外国参加青年(OPY)来日
第2日		1月16日 水	<OPY>オリエンテーション、歓迎レセプション
第3日		1月17日 木	<OPY>地方プログラム(宮城、三重、大阪、徳島、宮崎)
第4日		1月18日 金	<OPY>地方プログラム(ホームステイ)
第5日		1月19日 土	<OPY>地方プログラム(ホームステイ) <JPY>出航前研修
第6日		1月20日 日	<OPY>地方プログラムから帰京し出航前研修に合流 <JPY>出航前研修
第7日		1月21日 月	全体オリエンテーション、陸上研修1
第8日		1月22日 火	陸上研修2
第9日		1月23日 水	陸上研修3
第10日		1月24日 木	陸上研修4
第11日		1月25日 金	陸上研修5
第12日		1月26日 土	陸上研修6
第13日	(1)	1月27日 日	横浜港へ移動、乗船、荷物積込
第14日	(2)	1月28日 月	出航式、横浜港出航、航海1
第15日	(3)	1月29日 火	航海2
第16日	(4)	1月30日 水	航海3
第17日	(5)	1月31日 木	那覇入港、沖縄寄港地プログラム、出国手続、那覇港出航、航海4
第18日	(6)	2月1日 金	航海5
第19日	(7)	2月2日 土	航海6
第20日	(8)	2月3日 日	航海7
第21日	(9)	2月4日 月	パラオ入港(給油、給水)、出航、航海8
第22日	(10)	2月5日 火	航海9
第23日	(11)	2月6日 水	航海10
第24日	(12)	2月7日 木	航海11
第25日	(13)	2月8日 金	ダーウィン(オーストラリア)入港、訪問国活動(ダーウィン①)
第26日	(14)	2月9日 土	訪問国活動(ダーウィン②)、ダーウィン出航、航海12
第27日	(15)	2月10日 日	航海13
第28日	(16)	2月11日 月	航海14
第29日	(17)	2月12日 火	航海15
第30日	(18)	2月13日 水	航海16
第31日	(19)	2月14日 木	航海17
第32日	(20)	2月15日 金	ブリスベン(オーストラリア)入港、訪問国活動(ブリスベン①)
第33日	(21)	2月16日 土	訪問国活動(ブリスベン②)
第34日	(22)	2月17日 日	訪問国活動(ブリスベン③)、出国手続、ブリスベン出航、航海18
第35日	(23)	2月18日 月	航海19
第36日	(24)	2月19日 火	航海20
第37日	(25)	2月20日 水	航海21
第38日	(26)	2月21日 木	ホニアラ入港(給油・給水)、出航、航海22
第39日	(27)	2月22日 金	航海23
第40日	(28)	2月23日 土	航海24
第41日	(29)	2月24日 日	航海25
第42日	(30)	2月25日 月	航海26
第43日	(31)	2月26日 火	航海27
第44日	(32)	2月27日 水	航海28
第45日	(33)	2月28日 木	航海29
第46日	(34)	3月1日 金	東京港入港、入国手続、解散式、下船(15:00)、外国参加青年帰国
第47日		3月2日 土	帰国後研修(日本参加青年)、解散